

平成28年度

第1回庄原市道徳教育推進委員会研修会

- 日時：平成28年6月20日（月） 14：00～16：35
- 場所：庄原市総合体育館 第2会議室
- 対象者：庄原市内各小・中学校の道徳教育推進教師26名

目的

- ・「特別の教科 道徳」が目指す新たな道徳教育の展開について、理論研修・演習を通して理解を深める。
- ・道徳教育推進教師としての役割を理解するとともに、校内における道徳教育推進及び充実を図るための方策について研修する。

講話 「庄原市道徳教育推進委員会の1年間の方向性について」
庄原市教育委員会 教育指導課 指導係 赤木 一成 指導主事



【講話の概要】

- 道徳教育推進教師は、リーダーシップを発揮して組織的な指導体制をつくり、全教職員の共通理解を図りながら道徳の時間の授業改善に努めることが大切である。
- テーマ別課題を設定して各学校で取組を行い、実践したことを交流し、道徳教育実践ファイルを作成する。

講話・演習 「『特別の教科 道徳』が目指す新たな道徳教育の展開について」
広島県教育委員会 豊かな心育成課 金子 京子 指導主事



【参加者の声】

- ・道徳的な価値について、自己の問題として捉えさせることが大切なことが改めて分かった。
- ・学習指導案の見直しを通して、「特別の教科 道徳」をどのように展開していけばよいか大変参考になった。

【講話・演習の概要】

- 平成27年3月に学習指導要領が一部改訂され、「特別の教科 道徳」が示された。小学校では平成30年度、中学校では平成31年度から完全実施される。改訂の背景や現在、各学校で取り組むべきこと等について確認した。
- 児童生徒が主体的に学ぶ道徳授業をつくるための一つの手法として、問題解決的な学習が必要である。問題解決的な学習を行うためには、気持ちを問う発問から、自分だったらどうするか、主人公がどうしたらよかったか等を問う発問へと転換していく必要がある。